お祝いの言葉

令和7年8月17日から20日まで、沖縄県で行われた第52回全日本中学校陸上競技選手権大会の男子400mにおいて金子斐音（かねこあやと：牧野中学3年）君が48”16の日本中学新記録で優勝しました。この快挙は高岡市、富山県の陸上競技の歴史に大きな足跡を残すことになりました。このことに心からお祝いを申し上げますとともに、金子君のこれまでの努力とそれを支えられた保護者の皆さん、また学校やクラブの指導者の皆さんに心から敬意を表します。

金子君は陸上部のない学校に所属しながら、学校の大橋伸宜先生（1992 I H円盤投優勝）に見いだされ、陸上の世界に足を踏み入れました。その後、大橋先生の先輩にあたる松田薫さんが運営する高岡ジュニア陸上クラブ（高岡JAC）にも参加し、練習に励んできました。また本協会で立ち上げた部活動地域展開対応のT&Fクラブにも所属して学校の枠を超えた多くの中学生と切磋琢磨し、クラブ指導者からも助言を得てきました。本協会としては、年間に複数回の記録会開催や秋季の合同練習会などを通して普及強化活動を行ってきたところです。このような状況の中での快挙達成であり、本協会会員はもとより関係する多くの人々が大きな喜びと感動をいただきましたこと、心から感謝します。

昨年8月の記録会では56秒台の選手が日本の頂点を極めました。若い世代の選手には大きな可能性があります。今回の快挙を受け、同世代の皆さんも大きく飛躍されることを期待しています。

一旦高みに上がれば、そのレベルでの活躍が期待される。この競技の習わしでもありますが、金子君には焦ることなく一歩ずつ前進され、やがて郷土出身の名選手、大森盛一（アトランタオリンピック1600mR5位入賞）君に並び、追い抜く日が来ることを期待いたします。おめでとうございます。

高岡市陸上競技協会
会長 川岸利光